

## 浜岡原発の永久停止・廃炉を求める意見書

東京電力・福島原発事故は、日本と世界の人々に大きな衝撃をあたえ、原発に依存したエネルギー政策をこのまま続けていいのかという、重大な問題を突きつけている。

3ヵ月後を経過しても収束の見通しが立たず、約10万人の人々が、いつ戻れるかわからない避難生活を強いられている。また、放射能汚染の広がりには東京、神奈川、静岡県など広範囲に及び、校庭の土壌、水道水、牧草、農産物、水産物などに被害をおよぼし、海洋汚染はどこまで拡大するかも不明である。

予想される東海地震の規模は、東海・東南海・南海の三つが連続して超巨大地震となるとの想定もされている。浜岡原発は、この地震の震源域の真上にあつて「世界で一番危険な原発」との指摘がされており、「日本の大動脈・太平洋ベルト地帯」の真ん中での原発事故は、日本全体に甚大な被害をもたらすことは明らかである。

福島原発では緊急停止の後、原子炉や使用済み燃料の放射性物質から発せられる「崩壊熱」を安全に冷却することができず、今回の大惨事を引き起こした。浜岡原発も同様な危険があり、原子炉や使用済み核燃料などを長期にわたって安全に冷却する対策が求められる。

今回の浜岡原発の運転停止は、一時停止で運転再開を前提としているが、「永久停止・廃炉」こそが最良の選択である。この機会に、日本の電力については、原発への依存はやめて、自然エネルギー活用への大転換を図ることが求められる。

よつて、国においては下記事項を確実に実行するよう強く要請する。

### 記

- 1 浜岡原発は永久停止・廃炉とし、電力の原発依存をやめ、自然エネルギー活用へ政策の大転換をはかること。
- 2 運転停止の浜岡原発の原子炉・使用済み燃料などを、安全に冷却する万全な対策をとること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年6月30日

伊豆市議会

内閣総理大臣 菅 直人 様

経済産業大臣 海江田 万里 様